

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

「メツキ職人から絵の世界へ」

石川進造さんを訪問

先日知人から、向島に絵を描く人が居ることを教えられました。インターネット上で調べると「石川進造記念館」というホームページに、日本各地の桜の大地の他、スペイン、インド、バリ島、ミャンマーの風景等、素晴らしい144点の作品が掲載されています。早速訪問しお話を伺いました。



Q1 生い立ちについて教えてください。

昭和10年3月生まれで84歳になります。戦後、父親がメツキの会社を設立して、沢山の職人さんが作業をしているのを見て育ちました。その関係で、学校は都立の工芸高等学校金属工芸科で学び、卒業後、入社して、メツキ作業に取り組みました。その後、工場長となり、42歳で代表取締役、60歳で会長に就任、68歳で退職しました。その間の仕事が認められて平成19年に「ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞」を受賞し、「現代の名工」として「厚生労働大臣賞」、平成20年には、「黄綬褒章」を授与されました。

Q2 絵を描くきっかけについて教えてください。
中学、高校時代に油絵を描いたことがあり、先生からは美術大学へ行くように勧められましたが、18歳か

本のを描きたくなりまして。老桜の姿に自分の人生をみているのかも知れませんが。
Q5 どのように健康を維持していますか？
毎週1回、近くのスポーツジムに通って、体力と気力を保つようになっています。
Q6 今後の目標はなんでしょうか？
そろそろ絵の終活をしたいと考えていますが、先ずは、今年2月に表参道にあるギャラリーコンセプト21で個展を開催します。その後は、時間を気にせずに、「見る人の心にしみる絵を描くこと」に専念したいですね。

Q3 絵の制作過程を教えてください。
まず画材一式をスケッチする場所に運び、描き始めます。天候に左右されますが、最低1日はかかります。写真は後で参考にするために撮ります。大きな絵になると帰宅後、3か月から半年かかる作品もあります。
Q4 一本桜の老木を沢山描いていますか？
海外の風景を描いていた時期もありますが、リーマンショック以来、何故か日

※背景の作品は「願成寺の中将姫誓願桜」

お母さんはケーキ屋 「工面」 その10 山谷 いく

押上にケーキと喫茶の店を開店する話を持ち上がった時、最初に相談した金融機関は地元信用金庫だった。結婚前に那須高原に温泉付き別荘地を購入した折に200万円ほど借入して2年で完済した実績と、母が勤務していたこともあり、積立も定期もその信用金庫に預けていた。その支店に開業の借入相談に出かけた。

昔、タイムショックというテレビ番組があったが、支店長はその番組の司会者、田宮二郎張りの二枚目で、かつ敏腕支店長と噂されていた。愛想のいい笑顔で割と簡単に貸し出してくれるような口ぶりであった。すっかり安心して手付金を不動産屋に支払った。その後、具体的な話が進み、資金計画書を提出した。それを見た田宮二郎支店長は、笑顔の司会者から任侠映画のニヒルな顔に一変し「これだけの売上予想は無謀だな」その一言で貸付は無理と断られてしまう。無謀、私の夢はぐらっと砕けかけた。すでに保証金と前家賃も支払い、後には引けない状態なのである。(最初から断ってくれよ見損なったぜ!) 苦々しい思いで信用金庫を後にする。何か、次の方法はないものかと夫と話し合う。夫はO君を思い出す。半年ほど前まで勤めていた会社が取引していたA銀行の若い営業マンである。直ぐに連絡してみると支店長代理と一緒に自宅に話を聞きにきてくれた。信用金庫に提出して却下された計画書を見ていた支店長代理が、「奥さん、1,600万円位は出せま

すよ、支店長とも相談しますが」と言った。それと、銀行独自の貸付以外に、東京都信用保証協会に申請すれば、450万円は借りられるはずなので書類を作ってくれるとまで言った。思わず夫と顔を見合わせた。ここに至るまでには、O君がどれほど熱心に上司を説得したのかが伺える。O君のお陰で、2050万円借りられることになった。O君が、夫の勤めていた会社に飛び込みで営業に来た時のことだった。会社の人たちに無視され帰りかけたO君に、

たまたま出先から戻った夫が声をかけ、少額ながら積立預金の契約をした。それがきっかけでその会社の取引銀行にまで進展したのだった。それ以来、O君は夫を慕っているように見えた。あと、650万円。これもまた、夫の友人がB銀行の融資の人を紹介してくれ、那須高原の家を担保に350万円借入、不足は母の定期預金を解約して借りた。なんとか2,700万円が工面できるとほっとしたのも束の間O君からの連絡で、保証協会の450万円が300万円しか借りられないと言う。(「何故だ!」) 納得できないのでバイクを

飛ばして錦糸町にある保証協会に出かけた。自慢のチーズケーキを持参した。(「私のケーキを食べてみてくれ!」) という思いがあったからである。受付で担当者に会う。問題は直ぐに解決した。それは単に銀行から出された書類に一部不備があっただけのことだった。借入の書類を全て揃えてA銀行の支店長の前に立った。「奥さん、あなたのやる気にお金を貸し出すのですよ!」さとすような、いや、励ましのようにも聞こえた。この支店長に報いたい。深くお辞儀をして銀行を後にした。

<1月の保存食>
「くるみ入り田作り」

手軽にクッキング 111

<材料> 10人分程 (1人分53kcal)

ごまめ	40g
くるみ	40g
砂糖	大さじ3
酒	大さじ2
しょう油	大さじ2
白いりごま	少々



<作り方>

1. ごまめは、弱火でからりとおり、さましておく
2. クルミは、こがさないよう、さっと炒める
3. フライパンに、調味料を入れ、弱火で煮詰める
*煮詰めすぎると、かたくなるので注意
4. とろみがついたら、1と2を入れてからめる
5. 4のごまめに白いりごまをふり、広げてさます
6. 器に盛り付ける

◆「田作り」昔は小魚を田んぼの肥料にしたそうです。豊作祈願を表します。今年もお元気でお過ごしください “ね” 🐭

(協力：食育支援部)

(3) 元気で100歳!! 墨田で生きよう!! 定年後の大きな生きがい発見!!

エッセイ No.168

おぶせまち
小布施町へバス旅行
おおた 太田 雅子 よしこ

11月9日(土)、10日(日)に、墨

田区の文化芸術振興課主催の友好都市
交流事業2019秋「都市農村交流」
が開催されることを知り、申込みをし
ていたところ、幸いなことによく一緒
に出掛ける仲間4人と、墨田区の友好
都市である長野県小布施町へ訪問する
機会を得ました。

◆一日目

朝7時半に区役所前で貸切のバスに
乗り、途中2か所のサービスエリアに
寄りながら小布施町に向かいました。
都会では見られない山々の紅葉が、空
の青さと鮮やかなコントラストを醸し
出した素晴らしい風景に見とれていま
した。長野県に近づくにつれて、車窓
の景色も変わり、リンゴの赤色が一面
に広がり始め、暫くすると小布施町に
着きました。

丁度お昼の時間になり、信州信濃本
場のお蕎麦で、空いたお腹を満たしま
した。今回の行事ではリンゴ狩りは無
いのかと思っていましたところ、リン
ゴ園の方のご厚意で、準備をしてくだ
さっていました。真っ赤に育ったリン
ゴがニコニコと迎えてくれているよう
でした。リンゴ園で木になっている時
には、そんなに大きいと感じなかった



のですが、帰宅後、取り出してみると、
凄く大きなリンゴなので本場にビック
リしました。

リンゴ園を出発して宿に向かう途中、
岩松院に寄り、葛飾北斎(1760年
~1849年)最晩年の作品を見るこ
とができました。21畳もある大きな肉
筆画で天井に取り付けられた「八方
眺み鳳凰図」です。制作するには、大
きな絵を12分割して、描き、その後天
井に張り付けたそうです。普段見るこ
とができる葛飾北斎の作品のサイズを
考えると、なんと大きな作品を制作し
たものだとあらためて感動しました。
この後、宿にむかい夕食時間となり
ました。テーブルには乗り切らないほ
どのお料理が並んでいて、身も心もす
っかり癒されました。

◆二日目

朝は、町の方々との交流会があり、
綿あめ、豚汁、高価なシャインマスカ
ット等を試食できました。

その後、5キロのハイキングに行く
ことになり、看護師さんから歩き方の
指導がありました。紅葉の山々を眺め
ながら進んで行くと、重要文化財で建
立600年の浄光寺薬師堂があります。
デコボコの石段を注意しながら上るた
め、お堂までは時間がかかりました。

ご住職は、
毎日何回
も、駆け
上がり、
駆け下り
るそうで
す。



ハイキ
ング後は
2時間の
自由散策
の時間が
あり、あちこちのお店に寄りながら、
昼食には、旬の栗ご飯を頂きました。
この後、バスに乗り、一路東京スカ
イツリーを目指して帰路につきまし
た。

小布施町の人達の温かいおもてな
しを受け、美しい景色を眺め、葛飾
北斎の作品を鑑賞することができ

今回の行事に参加できたことを有難く
感じております。

※八方眺み鳳凰図



「シニア人材バンク

登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の
登録と依頼に応じた派遣を行って
います。

パソコン、麻雀、将棋、子育て
支援、日本語支援、家事援助、生
活支援、健康教室のお手伝い、各
種講座、講演会の企画から会場の
準備作業など、どなたでも気軽に
参加できる、さまざまな活動をし
ています。

皆様の知識、経験、特技、趣味
等を地域で活かしてみませんか？

(4) 元気で100歳!! 墨田で生きよう!! 定年後の大きな生きがい発見!!

令和元年度 第6回 生きがい講座

終活カウンセラーに聞く、 人生のしまい方講座



エンディングノートやお墓のこと…終活の秘訣!

【日時】令和2年2月19日(水) 午後1:30~3:30

【会場】すみだ女性センターホール(押上2-12-7-111)

【費用】無料【定員】60名【対象】おおむね55歳以上の方

* ご家族を誘い合わせの上、参加することも可能です。

* 自転車で来る方は女性センター専用駐輪場に入れて下さい。



【講師プロフィール：武藤 頼胡^{むとう よりこ}】

- 一般社団法人終活カウンセラー協会 代表理事
- リンテアライン株式会社 代表取締役社長
- 「終活カウンセラー」の生みの親であり、テレビ、ラジオ、新聞や雑誌など様々なメディアの取材を受けるかたわら、終活フェアやセミナーの講師として全国を飛び回る人気の終活カウンセラー。2018年8月に初の著書となる『元気なうちから始める! こじらせない「死に支度」』(主婦と生活社)を出版。

■申込み・問合せ：NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 墨田区東向島1-17-8-2F
電話：03-5631-2577 / Fax:03-5631-2578
(受付時間：平日午前10時~午後4時)

■企画・運営：NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
■主 催：墨田区



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間：平日午前10時~午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

皆様、明けましておめでと
うございます。年末に編集作
業を終えて帰り道に近所の子
供に、「お正月が来るのが楽
しみ?」と聞くと、「フーン」
と元気な声と大きな笑顔が返っ
てきた。きつと、元日に沢山
のお年玉をもらったに違いな
い。今年もどうぞよろしくお
願いいたします。

編集後記